

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|-------------------------------------|--------|-----------------|
| 建物名称 | グランフォーレ千早マークスクエア イーストウイング | 階数 | 地上15F |
| 建設地 | 福岡市東区千早四丁目3010番6 | 構造 | RC造 |
| 用途地域 | 商業地域、防火地域、駐車場整備地区、地区計画(香樟副都心土地区画整理) | 平均居住人員 | 322 人 |
| 地域区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年(想定値) |
| 建物用途 | 集合住宅 | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2020年12月 予定 | 評価の実施日 | 2019年4月17日 |
| 敷地面積 | 2,088 m ² | 作成者 | 渡邊 浩之 |
| 建築面積 | 923 m ² | 確認日 | 2019年4月18日 |
| 延床面積 | 9,921 m ² | 確認者 | 中尾 俊平 |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.2 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.4

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.4

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 2.5

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.4

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|--|--|--|
| 総合 ・地域の特性や景観に配慮した建物を目指し、室内環境・室外環境への配慮を行うことで、地球環境保全に貢献しています。 ・道路に面した部分に植栽帯を設け、緑豊かな景観に配慮しました。 | | |
| Q1 室内環境 ・界床遮音性能に配慮しました。また、ホルムアルデヒドの発散を抑えた建材を使用し、安全で快適な居住空間に努めました。 ・内装材等にはF☆☆☆☆を採用しました。 | Q2 サービス性能 ・段差や廊下幅などバリアフリーに配慮し、高齢者や障害者の方にも安心して安全な建物を目指しました。 ・福岡市福祉のまちづくり条例の整備基準をクリアしました。 | Q3 室外環境(敷地内) ・敷地は大通りに面しているため、周囲の街並みに配慮した景観計画としました。 ・道路に面して植栽帯を設け、緑豊かな周辺環境に配慮しました。 |
| LR1 エネルギー ・LED照明などの高効率設備機器を採用しました。 | LR2 資源・マテリアル ・屋外駐車場の一部を住棟内に取り込み、屋外アスファルト面を縮小するなど、ヒートアイランド現象の緩和を図りました。 ・1階の約半分を駐車場として計画しました。 | LR3 敷地外環境 ・光害(漏れ光など)によって周囲に悪影響を与えないよう、外灯など照明器具は設置位置や高さに配慮しました。 ・外灯の点灯・消灯はタイムスケジュール制御としています。 |

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される